

令和7年度 ふるさと寄附金活用事業

白石町では、令和6年にいただいたふるさと寄附金を令和7年度事業に活用することとしています。

令和7年度は、45事業（活用総額：5億9,130万円）に活用させていただきます。

そのうち主な活用事業をご紹介します。

活気と魅力ある豊かなまちづくり	
事業名・内容	活用額
『空き家・空き地バンク事業』 空き家・空き地バンクサイトを通じた空き家の有効活用で、移住・定住を引き続き推進します。	200万円
『しろいし農業塾』 県外からの移住者を農業研修生として受け入れ、農業の担い手としての自立を目指します。	500万円
『結婚新生活支援事業』 新婚夫婦の経済的負担を軽減するため、結婚新生活のスタートアップに必要な費用の一部を助成します。	250万円
『住まいる”しろいし”応援事業』 子育て世帯等が白石町へ移住・定住するために必要な土地や住宅の購入費用の一部を助成します。	1,500万円

子どもたちが健やかに育つまちづくり	
事業名・内容	活用額
『学童保育事業費』 就労等で保護者が昼間家庭にいない小学校児童を対象に、学校終了後から午後7時まで学校の余裕教室等で保育することにより、児童の健全育成を図ります。	1,000万円
『遠距離通学者支援事業費』 新設中学校開校に伴う、遠距離通学者をスクールバスにて通学を支援します。	3,900万円
『学校ICT教育推進費』 児童生徒一人1台のパソコンを活用した学習環境を整備し、時代変化に対応した教育の確立を推進します。	7,000万円
『小6・中3給食費無償化分、無償化に伴う補助金』 進学を控える小学6年生と中学3年生の給食費を引き続き無償化し、子育て世帯の経済的負担を軽減します。	2,000万円

高齢者や障がい者（児）にやさしいまちづくり	
事業名・内容	活用額
『障害児通所支援給付費』 障害児が施設や事業所に通所しながら必要な支援を受けることができます。 ・児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援 ・障害児相談支援 ・高額障害児通所給付費	2,000万円
『食の自立支援事業費』 食事の調理が困難な高齢者世帯等に、栄養バランスのとれた食事を訪問により提供し、安否の確認を行うことで自立した在宅生活の継続を図ります。	400万円

使途（使い道）については白石町におまかせします	
事業名・内容	活用額
『観光費』 町産業の振興と活性化を行い、観光まちづくりを推進します。	1,000万円
『食育推進事業費』 食育推進の取り組みを積極的に進め、町民の食生活改善と健康づくりに努めます。	100万円
『消防施設整備費』 消防施設・消防資機材の整備強化により、消防力水準の向上を図ります。	250万円
『スポーツ人材育成補助事業費』 スポーツ団体・個人の育成と競技力向上のため、全国・九州大会の出場費用や町内高校に在学する生徒の町内での下宿費用の一部を助成します。	50万円